

研究主題

自律した学習者を 育てる

学びをつなぎ

資質・能力を高める

(最終年次)

自立と自律
どう違うのか？

自立

独り立ち

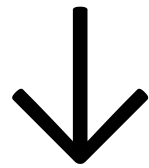
結果

自律

自らをコントロールしながら
ゴールに進んでいく様子。

過程

人口減少・グローバル化
技術革新



予測困難な
社会の変化



学んだことの
有用性・楽しさ
を実感



生涯にわたって
学び続ける
原動力へ

研究主題

自律した学習者を 育てる

学びをつなぎ

資質・能力を高める

(最終年次)

自律した学習者とは

自分自身の学びを
省察し、

自ら設定した
目標に向け
必要な学習内容や
方法を決定し、

学び続けていく学習者

自分自身の学びを省察し、



何を、
どのように学び、
どう活かすのかを自覚し、

自ら設定した目標に向け
必要な学習内容や方法を決定し、



自分の学習状況に応じて
効果的に学習を進め、

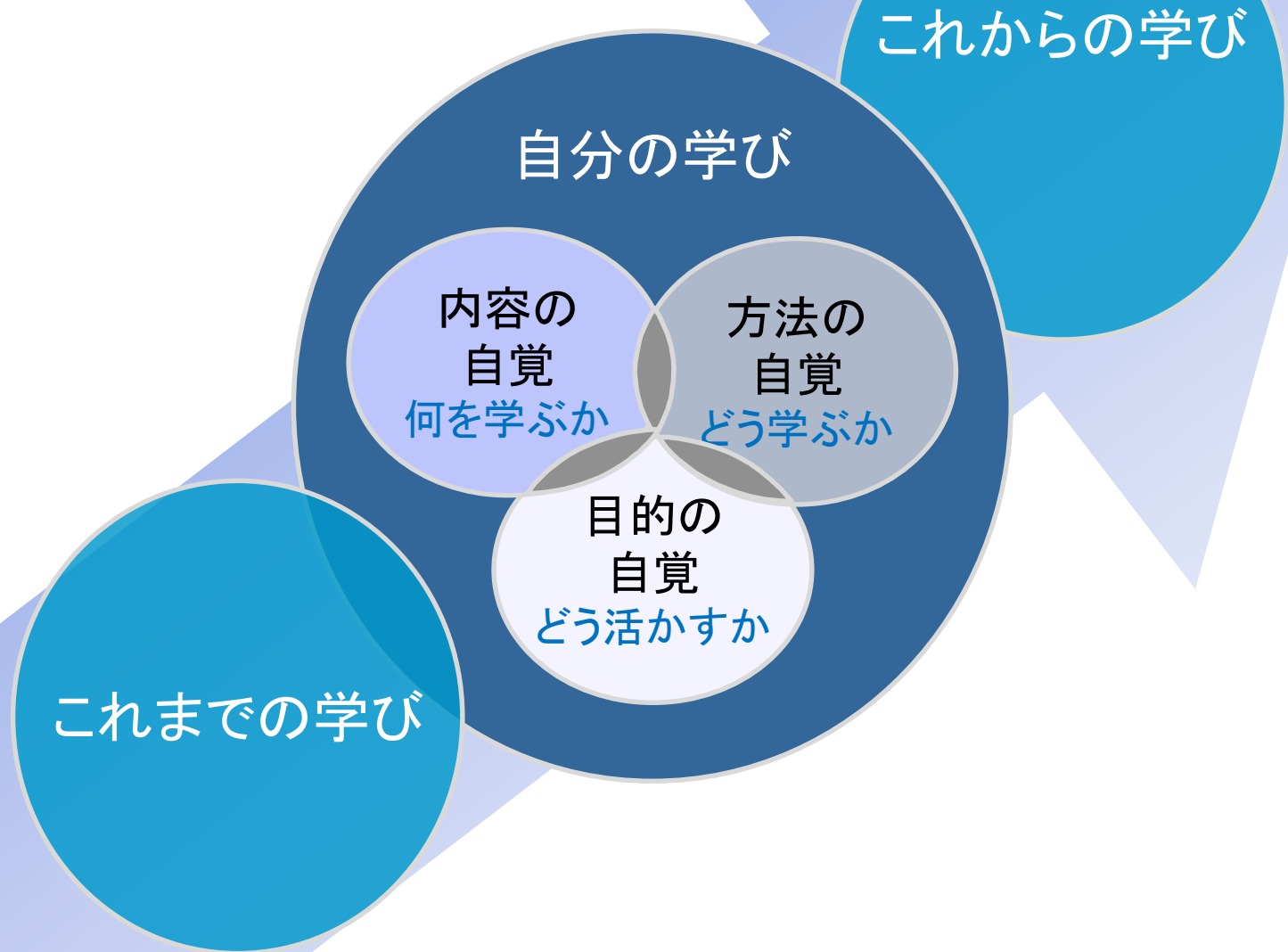
学び続けていく学習者

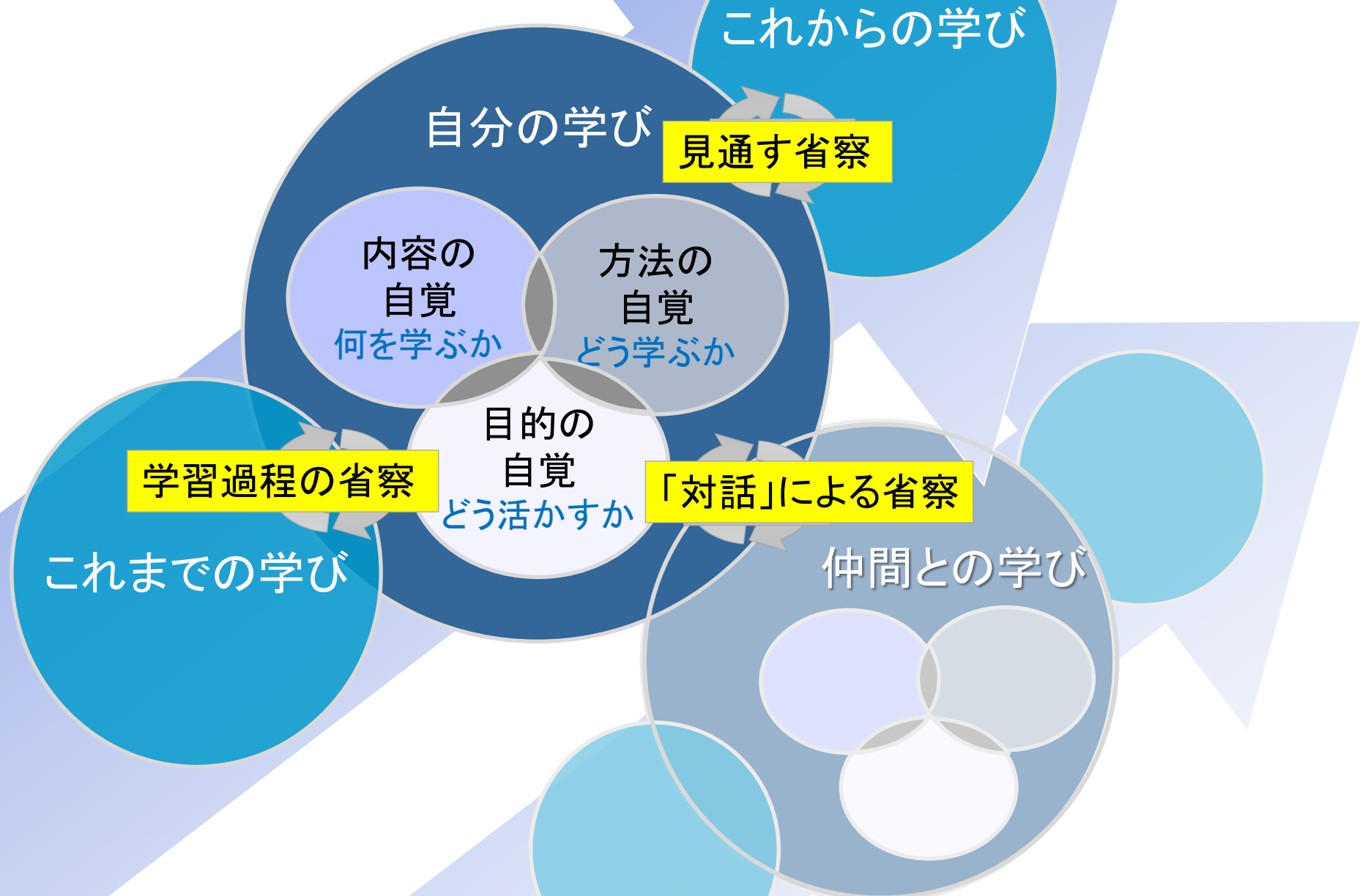


自ら学び続けることが
できる学習者

研究副題

学びをつなぎ
資質・能力を高める





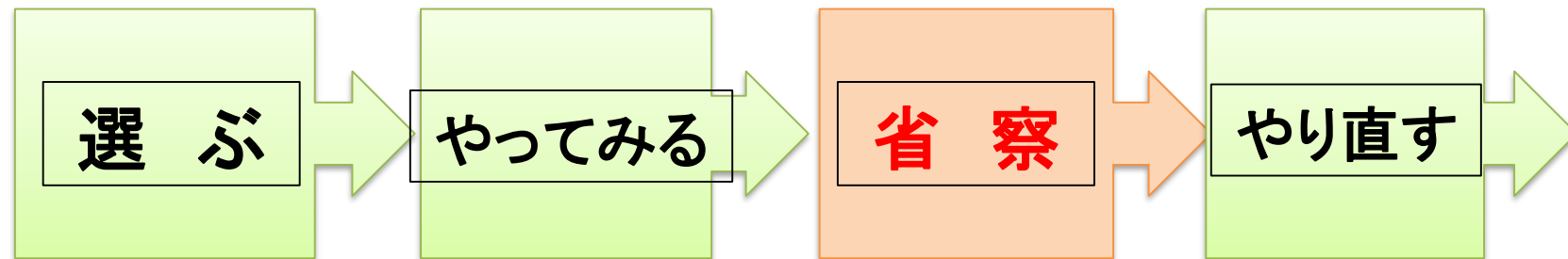


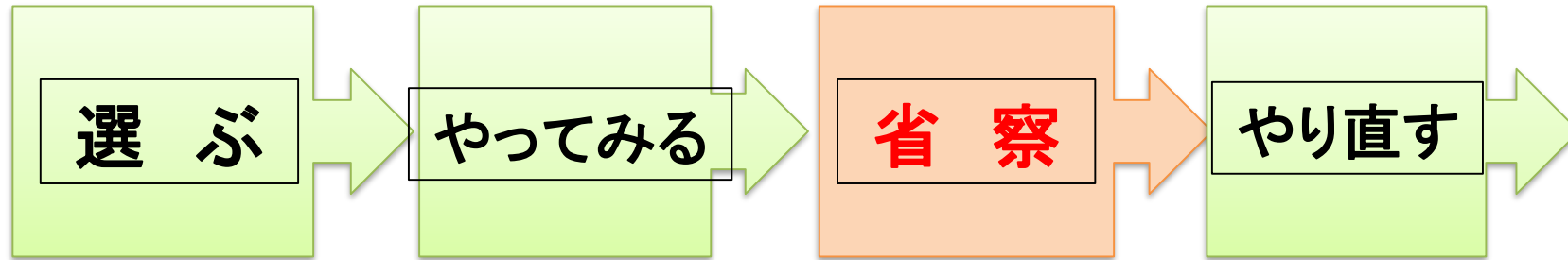
2年次の課題

- 自ら問いを発し、
解決するために必要な学び方を選びながら
学びを深めていくための
単元・題材構成の在り方
- 自分の変容を自覚し、
学びをつなげていくための省察の在り方

3年次の重点

(1) 自ら選択・決定する学習活動を
位置付けた単元・題材構成の工夫





協働的な省察

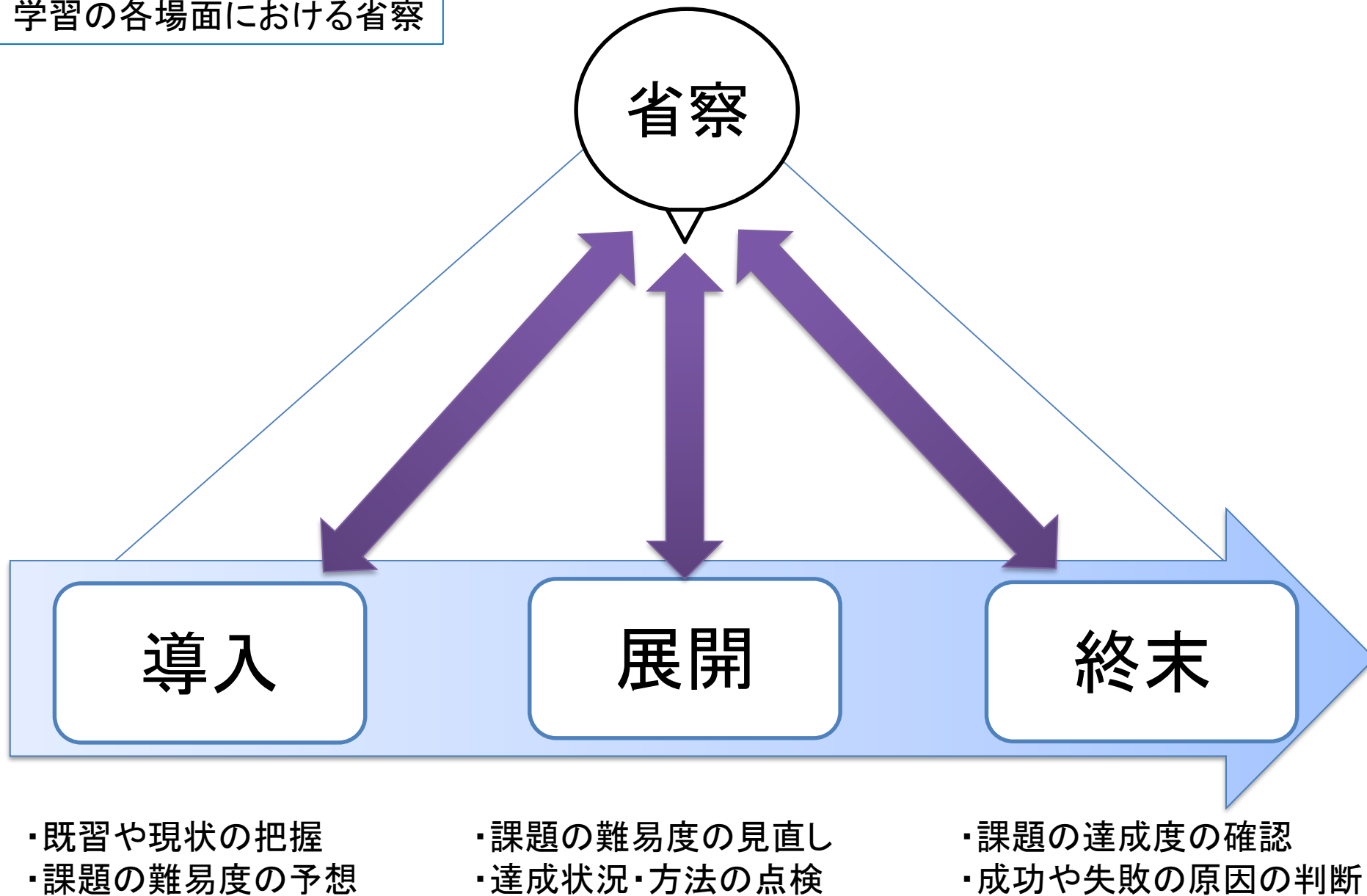
- ・困り事の相談
- ・吟味
- ・練り上げる

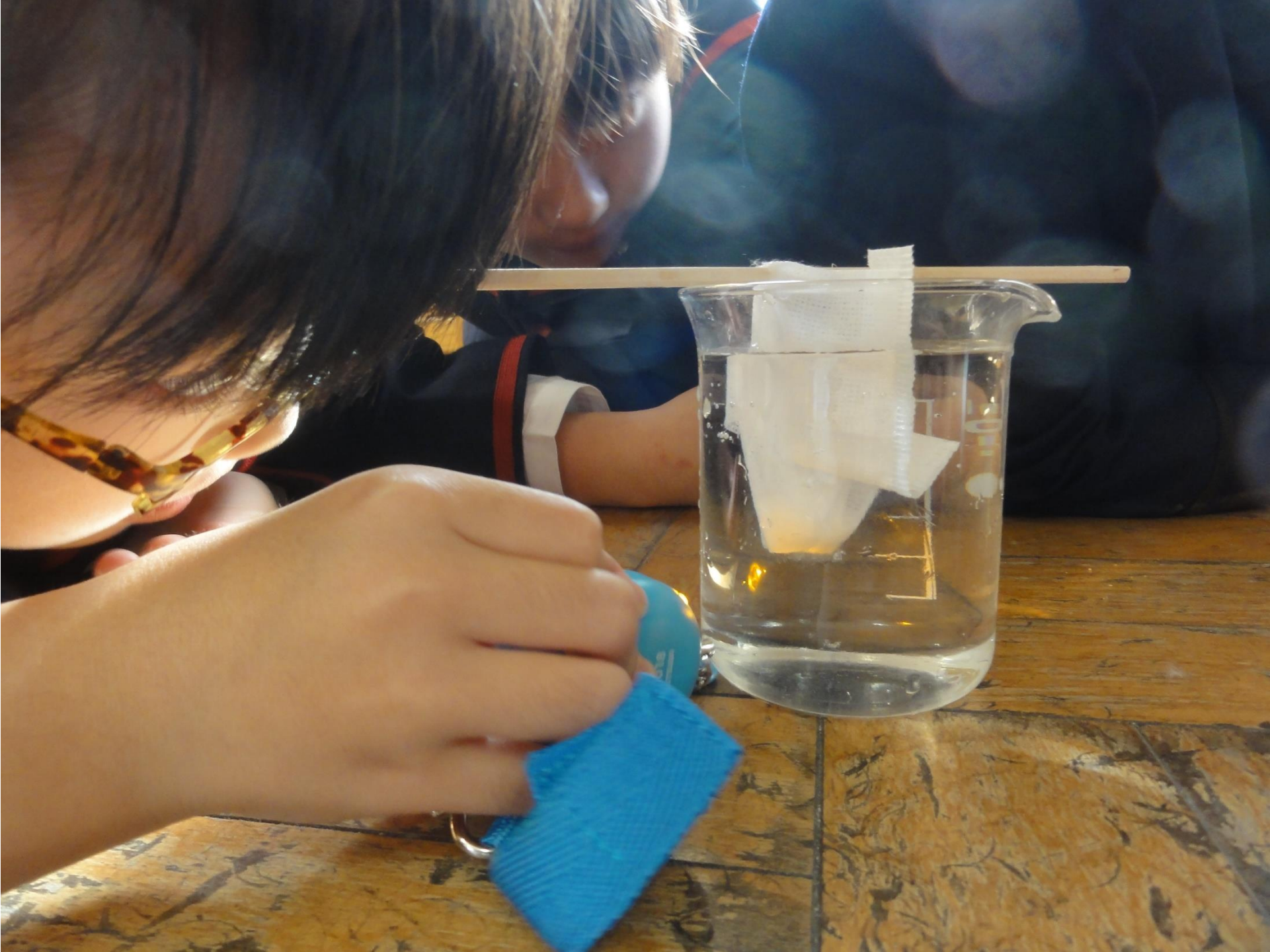
個の省察

- ・自分の学びを再構築

3年次の重点

(2) 自らの学びをつなぐ
効果的な省察の工夫





「自律した学習者を育てる」ために必要な 教師の姿勢

選択・決定

「どのような資質・能力を引き出すために」

「いつ」

「何を」

「どのように学ぶ経験を与えるか」

「自律した学習者を育てる」ために必要な 教師の姿勢

選択・決定

「いつ」

「何を」

「どのような資質・能力を引き出すために」

「どのように学ぶ経験を与えるか」

省察

「この教材の本質は何か」

「子どもの見取りは適切か」

「選択・決定（授業実践）を経て見えたものは何か」